



令和8年7月2日(木)

学校教育目標 心豊かに たくましく 自ら学ぶ子どもの育成

第6号

文責：校長 真崎 哲也

諫早市立真津山小学校
854-0063
諫早市貝津町715番地2

電話

26-1473(職員室)
26-1081(校長室)
26-1204(FAX)

電子メール

e-matsuyama@isahaya-
snet.ed.jp

Web サイト

<https://www.isahaya-snet.ed.jp/school/e-matsuyama/>



真津山
小 HP
ぜひご
覧ください！

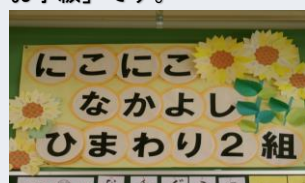
〔年間生活重点目標〕

1年間徹底します！！

- ①進んであいさつ・返事
- ②くん、さんづけ
- ③はさみ歩き

【学級目標紹介！】

学級目標は教師や子ども達の願いを合わせてつくります。学級のより所です。今回は「ひまわり学級」「たんぽぽ学級」「あさがお学級」です。



ひまわり1～3学級(共通)



たんぽぽ学級



あさがお学級

危機に備えて～命を守る体制づくり～

先月6月12日に、真津山地区健全育成会や保護者の皆様のご協力をいただき本年度第1回目の「下校時巡回指導」を実施いたしました。これは、大雨や台風等で緊急下校が必要になった時の対応を想定したものです。実施の様子を見せていただき、真津山地区の地域や保護者の皆様の手厚い体制に改めて頭の下がる思いでした。

先週は断続的に雨が降る1週間となり、24日は大雨による災害が予想されたことから臨時休業となりました。ところが休業明けの25日には、早朝から避難指示が出されていたにも関わらず通常登校を実施し、保護者の皆様に混乱を生じさせてしまいましたことに心よりお詫びいたします。

下校時巡回指導やこの度の大雨対応を通して、児童への対応や家庭への連絡、また関係機関との連携・協力等、命を守る迅速且つ丁寧な体制づくりの必要性を改めて実感いたしました。また、学校は保護者や地域の皆様へ、通常時の様々な連絡から緊急時の対応等を安心・安全メールにて連絡を行っています。メールの送信が多くなればなるほど、「またか・・・」とメールへの意識は薄れ、本当に大切な情報を見落とししてしまう危険性があります。

そこで、**非常変災時における登下校等に関する基本的な考え方と連絡方法について**以下のように整理をいたしました。学校はこれからも非常時の状況を正確に捉え判断し、必要なことを、時期を逃さず丁寧に伝えてまいります。

- ①**通常登校とする場合(学校からのメール連絡は原則行いません)・・・**通常登校となっているが、雨や積雪等状況で登校に不安や心配がある場合には、各家庭で判断ください。遅刻又は欠席をする場合には、必ず学校へ連絡をお願いします。(遅刻や欠席扱いにはなりません)
- ②**臨時休業や登校時刻の変更を行う場合(学校や市教育委員会からメールや文書を送付いたします)・・・**大雨や積雪等で登下校の安全が十分に確保できないと判断した場合や市から避難指示等が出された場合には、登校時刻の変更又は臨時休業の措置を行います。
- ③**就業中に、大雨や積雪等により、緊急の下校が生じた場合には、**メールにて連絡を行い、集団下校やお迎え対応等の連絡を行います。

「心のやじるしはどこを向いていますか」

教育週間中のご参観ありがとうございました。

教育週間中は、多くの保護者や地域の皆様のご来校ありがとうございました。道徳の授業参観では、命を主たるテーマとして、子どもたちが自分の考えをもち、友達と交流し考えを深め、これからの自分を見つめていく様子をご覧いただきました。道徳の時間は多様な価値観に触れ、今の自分を見つめる時間です。決してこうあるべきと強制するものではありません。自分ならこうするだろう・・・自分自身と本音で対話することが大切です。

1週間の参観期間では、普段のお子様の様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。これもまた教育週間の目的の一つでもあります。教育週間に限らず学校は開放しています。いつでも学校にお越しいただき、お子様の学ぶ様子をご覧ください。

校長講話の中で子どもたちに、「心のやじるし」という話をしました。子どもは何か事が起こると、周りのせいにしてしまうことが少なくありません。これは大人にも当てはまることかもしれません。自分がどうだったのか、自分はどうすればよかったのか、まずは自分の心と対話してこそ、人への思いやりや感謝の心が育つのではないのでしょうか。

